

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) センシュウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ジョゼミナール
専修大学	経済学部	徐ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームイチエイ	フリガナ) カタオカ ヨシキ	6	無
チーム一睿	片岡由毅		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

エディレボ ～大学生が考えた教育格差～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちはゼミナールの授業を通して日本の教育格差の現状を知り、大学生なりに格差を減らす方法はないだろうか考えた。そこで私たちは無料教育機関であるつばめ塾や KID'SDOOR をたくさんの人たちに認知してもらい、機会の平等を図ることが目的である。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在の日本には様々な教育格差が存在する。子どもの相対的貧困率は 16.3%で 6 人に 1 人という数字である。さらにはひとり親家庭では、50.8%で 2 人に 1 人が相対的貧困である。これは、OECD 加盟 33 カ国中最も悪い数値である。私たちはいくつかある教育格差の中で親の所得による格差に目を付けた。生まれた親の所得によりその子供の受けられる教育の質が決まってしまう。裕福な家庭に生まれることで塾に通うことができ、質の良い教育を受けることができる。その一方貧困家庭に生まれると義務教育で教育が終わってしまうこともある。図 1 を見ればわかるように塾に行く学生と塾に通えない学生の差は歴然である。また、図 2 を見てもらうと、親の所得によって大学進学率にも差がある。

図1

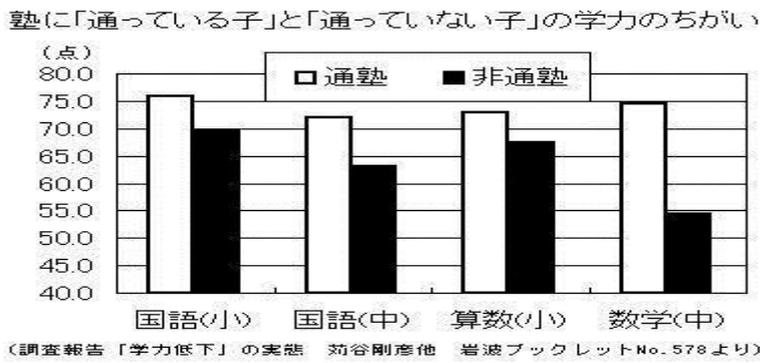
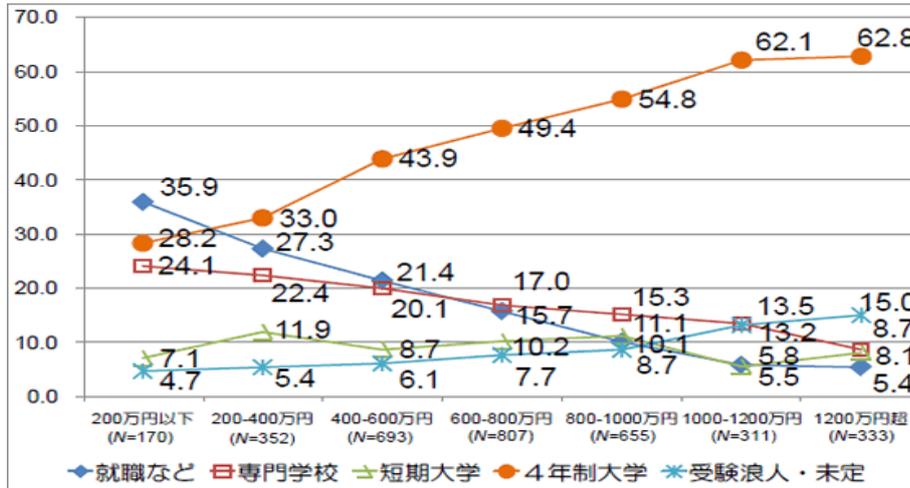


図2



### 3. 研究テーマの課題

現在の日本では、大学に進学し一般企業に就職するのが当たり前のように感じられる社会になっている。しかし、それは学力や経済力のある家庭に限られ、貧困家庭では困難なことだ。そこで経済力のない家庭のために、学校外で学べる機会を作るための場所が必要である。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

無料教育機関であるつばめ塾や KID'SDOOR を認知してもらうことが最も重要であるため、アイスバケツチャレンジのように SNS や動画を通じて世間に認知してもらうことを目指す。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

インターネット媒体での情報収集 つばめ塾、KIDS'DOOR などの無料教育機関などを広めるための動画の検討

### 6. 結果や今後の取り組み

つばめ塾と KID'SDOOR をより多くの人に知ってもらうため、広めていく方法を考えていく。

### 7. 参考文献

- ・『日本の教育格差』 橘木俊詔 岩波書店 (2010)
- ・『教育と平等』 刈谷剛彦 中央公論新社 (2009)
- ・『学力と階層』 刈谷剛彦 朝日新聞出版 (2012)
- ・『親の年収別に見た高校生の進路』<http://www.paci-gakushi.com/column/546/> (参照 2017. 8. 26)
- ・『国立大学法人お茶の水女子大学 平成 25 年度全国学力・学習調査 (きめ細かい調査) の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査』<http://cfc.or.jp/problem/> (参照 2017. 6. 21)
- ・『子供の相対的貧困率の推移』[http://smc-toshi.blogspot.jp/2017/08/blog-post\\_10.html](http://smc-toshi.blogspot.jp/2017/08/blog-post_10.html) (参照 2017. 8. 26)
- ・『調査報告 学力低下の実態 刈谷剛彦他 岩波ブックレット No.578 より』<https://allabout.co.jp/gm/gc/66171/>

(参照 2017. 5. 7)

・『アイスバケツチャレンジの寄付金はどうなったのか』<https://thepage.jp/detail/20150621-00000003-wordleaf> (参照 2017. 9. 26)

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください**